

① 単元名 歴史 第一次世界大戦後の欧米諸国

② 単元の小学校とのつながり

学びに向かう力 人間性等	小3.4年	小5.6年	中学校
	○社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことをことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。	○社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度やよりよい社会を考え学習したことをことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の平和を願う日本人として世界の国々の人々と友に生きることの大切さについての自覚を養う。	○歴史に係わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで、見られる課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする事の大切さについて自覚を深め、国際協調の精神を養う。

③ 単元に関する『ESD の視点に立った学習指導で重視する能力・態度』

ESD の視点に立った学習指導で重視する能力・態度	関連	内容
① 批判的に考える力 (批) 合理的、客観的な情報や公平な判断に基づいて本質を見抜き、ものごとを思慮深く、建設的、協調的、代替的に思考・判断する力	○	(批) ①第一次世界大戦後の講和会議「ベルサイユ条約」が、ドイツへの報復内容だったこと。②アメリカ大統領のウィルソンが提唱した「民族自決」や「国際連盟発足」は、世界平和を願う動きだったこと。を調べさせ、欧米諸国それぞれの思惑を公平な判断に基づいて考えさせる。
② 未来像を予測して計画を立てる力 (未) 未来像を予想して計画を立てる力過去や現在に基づき、あるべき未来像(ビジョン)を予想・予測・期待し、それを他者と共有しながら、ものごとを計画する力		(コ) 第一次世界大戦の反省や、国際連盟設立の意義について考え、自分の気持ちを友人たちに伝える。 また、友人たちの気持ちや考えを尊重しながら、共有し、話し合い活動に積極的に参加し、コミュニケーションを行う力を養う。
③ 多面的・総合的に考える力 (多) 人・もの・こと・社会・自然などのつながり・かかわり・ひろがり(システム)を理解しそれらを多面的、総合的に考える力		(他)&(つ) ①第一次世界大戦の反省から、世界平和への流れが起きたことを実感させる。②国際連盟を発足させた、ウィルソンの立場に立ち、国家間の話し合いや協議により紛争を解決していこうとする考えや行動に共感させる。 それらを踏まえて、自分や、身の回りの社会とのつながり・かかわりに関心をもたせ、これからの世界平和について考え、それらを尊重しようとする態度を養う。
④ コミュニケーションを行う力 (コ) 自分の気持ちや考えを伝えるとともに、他者の気持ちや考えを尊重し、積極的にコミュニケーションを行う力	○	
⑤ 他者と協力する態度 (他) 他者の立場に立ち、他者の考えや行動に共感するとともに、他者と協力・協同してものごとを進めようとする態度	◎	
⑥ つながりを尊重する態度 (つ) 人・もの・こと・社会・自然などと自分とのつながり・かかわりに関心を持ち、それらを尊重し大切にしようとする態度		
⑦ 進んで参加する態度 (進) 集団や社会における自分の発言や行動に責任を持ち、自分の役割を踏まえた上で、ものごとに自主的・主体的に参加しようとする態度		

1 本時のねらい	
第一次世界大戦の反省から、国際連盟の発足・民族自決の考え方を探り、世界平和の大切さを学ばせる。	
2 めあて、まとめ、振り返り	
<p>(まとめ) 第一次世界大戦の反省から、国際連盟の設立による軍備縮小や国際平和への流れに変わっていった。 ～生徒の意見や感想で取りまとめる～</p>	<p>(めあて) 第一次世界大戦後の欧米諸国はどのように変化していったのか調べよう。 ～世界平和に向けて何が必要なのだろうか考えてみよう～</p>
3 本時の展開	
<p>【導入 8分】 1. ウクライナ情勢 (プレゼン) 2. 予想・仮説を立てる 【展開 30分】 3. 教科書内容理解(10分) (p.214,215) 1) ベルサイユ条約 2) 民族自決 3) 国際連盟の設立 4) 民主主義の高まり 4. グループ活動(20分) 【終末 12分】 5. まとめと振り返り</p>	<p>・ウクライナ情勢(時事問題)による、導入で生徒の関心を導き出す。 ・プレゼンで、今日の授業の内容と関連付け、興味関心を抱かせる。</p> <p>本時の課題: 第一次世界大戦は、欧米諸国にどのように変化していったのか調べよう。～世界平和に向けて何が必要なのだろうか～ ・本時の課題について、自分の予想・仮説を立てる(カードに書く=宿題) *前面のホワイトボードに貼らせる</p> <p>・説明を聞き内容を理解(説明を聞いて内容を理解) ・それぞれのキーワードについて調べ、理解し、ノートにまとめる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 【知技】歴史学習ノート </div> <p>・グループで、本時のめあてについて話し合い、意見をまとめて発表する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 【思判表】【主体的】 ・振り返り ・対話活動の観察 </div> <p>・本時のまとめと振り返りをする。</p>
4 板書レイアウト等	
めあて: 第一次世界大戦は、欧米諸国にどのような変化をもたらしたのだろうか?	
<p>ベルサイユ条約 1919年 パリ講和会議 第一次世界大戦後の話し合い ベルサイユ条約…ドイツなどの敗戦国に厳しい内容 巨額の賠償金 軍備の縮小 植民地の放棄 日本は旧ドイツ権益(アジア・太平洋)を継承・中国山東省 民族自決 ウイルソン(アメリカ大統領)による民族自決の提唱 ⇒東ヨーロッパ諸国の成立 ⇒アジア・アフリカで民族自決を求める動きが活発化</p>	<p>2 国際連盟の成立 1920年 国際連盟の設立…本部ジュネーブ(スイス) 世界初の国際平和組織(課題も多く、強い力を発揮できず) ・常任理事国(英・仏・伊・日) ・米不参加、 3 民主主義の高まり イギリス…女性に参政権、労働党が初の政権獲得 ドイツ…ワイマール憲法(1919年): 世界で最も民主的な憲法 アメリカ…ヨーロッパ諸国に代わり、世界一の経済力 まとめ 第一次世界大戦での反省から、国際連盟の設立による軍備縮小 や国際平和への流れに変わっていった。</p>